

ものを進法と認めないが、必然に伴ふ処の手段を制限し實際に於ては
 進止に近い状態において居る。この現状を突破せしめて労働階級の進止
 は進まれない。茲に於て労働階級の固着の自由を、^{労働階級の自由} 進止の確立する程
 極的法制を要請するものである。然るに現内閣はさきより復選選挙の際
 この労働組合法を表明して置き乍ら、来る臨時議會には提出しない、
 と言ふ然等はかゝるブルジョア政黨をして断呼たる聲に依りこの法制の
 確立の^(先述) 必かりしなくてはならぬ

実行方法

- 一 大阪聯合會大會に提出すること
- 一 社會民衆黨を通じ今臨時議會に提出闘争する事
- 一 中央委員會に提出し労働組合法制定の要求運動を行ふこと

二 資本家本位の生産業合理化絶対反対(三上支那) 今田清

主文 産業合理化に依る解雇、労働低下、時間延長、工場閉鎖絶対反対
 理由 産業合理化こそは現在不景氣に陥みぬいて居る、資本家階級が吾

- 一 同種産業、或は異つた産業の合同、又は結合を推進すること
- 二 生産費を低くする爲に新機械の採用
- 三 同一時間と従来より多くの労働力を出させるための科學的労働管
理の採用
- 四 労働時間の延長、労働低下

実行方法

- 一 大阪聯合會大會に提案